

No. 1313

統一地方選挙スタート

— 東京都知事選 —

東京・大阪など15都道府県知事選挙は、統一地方選の第一陣として3月14日、告示された。美濃部都政12年の跡を受けた東京では保守・中道連合、鈴木俊一氏、革新統一陣営、太田薫氏、及び無党派麻生良方氏の三つどもえ。来月8日の投票日まで25日間の選挙戦に突入した。

成田知巳氏急死

社会党前委員長成田知巳氏が3月9日早朝、急性骨髄性白血病のため死亡した。東京千代田区九段の議員宿舎で行われた通夜には竹入公明党委員長をはじめ多くの政界、政党関係者が弔問に訪れた。弓問客は「同志は倒れぬ」の曲が低く流れる中、次々に献花、故人をしのんだ。翌10日には故人の遺言通り簡素な密葬が行われた。飛鳥田社会党委員長は「体の中を風が吹きぬけて行く感じがする。この思い万感こもるものを選挙に振りむけるつもりだ」とあいさつ。成田氏は昭和43年、社会党の委員長に就任して以来、9年余、飛鳥田さんにバトンタッチするまで党のけん引車として孤独な戦いを続けてきた。こうした努力にもかかわらず成田氏はついに社会党再生、革新統一の芽ばえを見ることなくその政治生涯を閉じたのである。

ビル火災に備えて

毎年、春から冬にかけては火災シーズンと云われ、火災が多く発生する。3月7日から一週間、全国で建築物防災指導週間が行われました。これは建築物の防災対策を推進するのが目的。今回は特に雑居ビル、地下街などの防災査察を行って災害に対する安全性を点検する。ひとたび火災が起きると大惨事にもなりかねないだけに査察はきびしく行う。排煙設備、非常用の照明、進入口など次々に点検していく。東京のある大きな地下街。ここは一日に約40万人の人が利用するという。この地下街では地下2階に防災センターを設けて常時、災害の発生に備えている。地下街各所に煙探知器、スプリンクラーが設置され、防災センターとすべて直結されている過去大阪千日デパートの火災をはじめ多数の犠牲者を出すビル火災があった。火事が発生した時に円滑な避難ができるよう防災対策には充分心がけておきたいものです。